

自己評価結果公表シート(令和元年度)

宮山台幼稚園

1. 本園の教育目標

「元気な子」・「考える子」・「思いやりのある子」の三原則を達成するための、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領をふまえて、実態に合わせたカリキュラムの再編成をし、教職員全員の共通理解や資質向上に努めるとともに、子どもの主体性を大切にする環境を構成します。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 保育の計画性	日々の自らの保育を振り返り、自園の保育目標に照らし合わせた上で課題を見つけ、見直し・改善を行い、質の向上を図ることができました。また、日々の保育に追われる中でも、職員同士で指摘・アドバイス・相談をし合うことで、さらに見直し・改善に努めるよう取り組んでいます。引き続き「小学校に就学するまでに身に付けておきたい10の姿」を意識したカリキュラムを作成したいと考えています。
② 保育のあり方、幼児への対応	子どもの健康や安全面に留意しながら、実態に合わせた指導計画を作成するとともに、子どもの主体性を大切にした適切な環境の構成について会議で話し合い、共通理解に努めています。
③ 保育者としての資質や能力・職員間の相互理解	以前より、職員同士が話しやすく相談しやすい関係が築け、お互いを尊重し、助け合うことができています。しかし、全員が自由に意見を出し合うまでには至っていません。また時間的な制約もあり、細かい話し合いも行えていないので、今後は、各職員がそれぞれの立場での意見を出しやすい環境作りを模索しています。
④ 保護者との関わり	昨年度から開始しました キンダーカウンセリングは、今年度も需要が多く、専門家に相談することで保護者の不安な気持ちが軽減されたように思います。 また、個人情報に配慮しながら、子ども達の様子を保護者に伝える方法を検討しています。
⑤ 研修の充実	園内での講師の先生の講習を充実するとともに、園外では幼稚園連盟・大阪府・堺市の専門研修や総合研修に参加しました。研修では自己課題を持ち、参加することでより自身の関心や保育への疑問解決などの課題が持てるようになりました。キンダーカウンセリング事業では、気になる子ども全般のことから、具体的な場面での対応についてまで幅広い研修を行いました。

⑥ 安全対策と施設整備の推進	<p>玄関の防犯カメラのモニターを大きいものにし、より確認しやすいように改善しました。</p> <p>不審者対策として、通園バスに催涙スプレーをのせるようにしました。</p> <p>地震・火事・不審者等、園児の避難訓練は、回数を増やし実施しました。非常時の備蓄カンパンについて、アレルギー対応のものを別途用意しました。</p>
⑦ 健康管理の充実	<p>園児・教職員の各種健康診断を行っています。</p> <p>コロナ禍での衛生面・安全面についての情報収集と対応について検討しています。</p>

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・全体的にはおおむね取り組むことができています。新教育要領に伴い教育課程の編成、実施において今後も更に深い理解をすすめるとともに、実際の保育場面でより新しい教育・保育を目指し、子ども達の心身の発達を十分に育めるように次年度も取り組んでいきたいと考えています。
- ・それぞれの自己評価や話し合いを通して、全教職員が共通理解を図り、本園としての方針を確認することができたと思われまます。子どもの主体性を大切にした環境構築については、今後も日々話し合い課題としていきたいと思ひます。
- ・キンダーカウンセリングの実施により、保護者の不安な気持ちがやわらいだことは、大変良かったと思ひます。

5. 今後取り組むべき課題

- ・市の保幼小の接続の研修に参加しましたが、小学校区が多すぎて不十分な面もあり今後の課題となります。
- ・園内のICT化は、さほど達成できていませんが、ホームページ・モバイルメールを活用しています。この度のコロナ禍において、保護者への伝達ツールとしてホームページ内の保護者専用サイトの充実・スマホ対応にリニューアルすることが急務です。

6. 学校関係者の評価

- ・全体的に妥当な保育・運営がなされていると認められます。
- ・保育の質の向上への取り組みに一定の成果が見られます。
- ・新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した保育・運営に取り組んでいかれることを望みます。
- ・時代に即した、情報発信ツールを準備することが肝要だと思われまます。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められています。